



1000人の学生証用写真の収集と チェックを1人で短期間に完結！

〈導入効果〉



低コストで導入でき、写真収集作業の時間は半分、人数は1/5に！



撮影はスマホで手軽に！品質チェック機能で適切な写真を迅速に収集。

▶ 従来の課題は？

台紙による写真のやりとりや確認、 再撮影の依頼が大きな手間に

毎年、約1000人が入学する本学では、学生証を作るために、合格発表から入学までの間に、学生に依頼して本人の写真データを収集しています。

以前は、本学から台紙を郵送し、学生に写真プリントを台紙に貼って返送してもらっていました。私(中山様)たち学生募集チームから1名、学生証を作るIT室が2名、入学手続きに対応する学生支援チームが2名と、計3部署・5名で作業していました。

従来工程はまず、写真管理のため、東と西のキャンパス各1名のIT室担当者が、受験番号などの学生情報に紐づくバーコードを印刷した台紙を用意。次に、学生募集チームが台紙を受け取り、入学手続き資料とともに郵送します。

その後は都度、西・東キャンパスの学生支援チーム各1名に郵送で書類が届きますが、そのうちの写真台紙はIT室に渡され、写真に不備がないかチェックされます。問題のない写真はスキャンし、規定サイズへのトリミングなど画像調整をし、学生証用の写真データを完成させる、という流れでした。

写真は、IT室の担当者が台紙で一枚一枚チェックしていました。しかし、本学でNGとしている高校時代の制服姿の写真など、使用できないものが来ることも。そのたびにIT室から学生支援チームに連絡、チームから学生に電話等で連絡し、再度台紙を郵送、写真を貼って返送してもらっていました。

一番の悩みは、台紙の準備や郵送、写真のチェックやスキャンに人員と時間が割かれていたことです。写真の不備があった際の部署間の連携や進捗管理、学生への連絡や台紙の再送、写真の再チェックも大きな負担でした。

▶ 導入の決め手は？

写真収集だけを簡単・低コストに実現。 学生の撮影負担も軽減

そこで2021年夏に、写真収集を省力化できるシステムをリサーチしました。入学後の学生管理など別機能もついたシステムはありましたが、高価でした。また、既存システムとの連携に手間を掛けるのは避けたく、写真収集だけを低コストで簡単に行



経営本部 広報部 学生募集チームサブリーダー
平塚 一磨 様



経営本部 広報部 学生募集チーム
中山 周 様



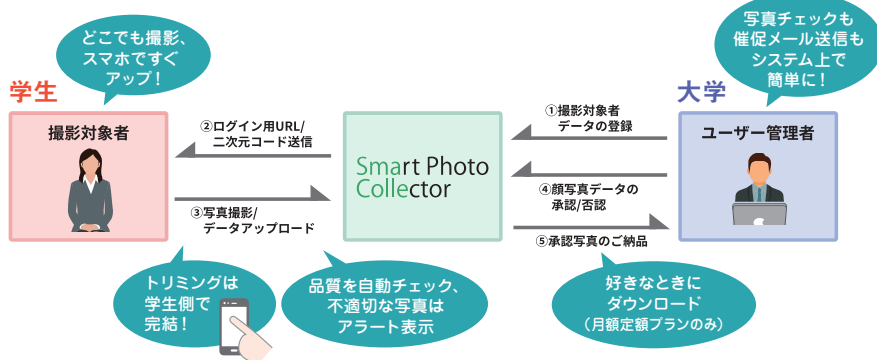
名古屋芸術大学

NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

■代表者：学長 竹本 義明 ■設立：1970年(昭和45年)
■所在地：東キャンパス：〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地
西キャンパス：〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地
■学生数：学部学生数：2191名／大学院生：77名／留学生(学部・院)：70名
(2021年5月1日現在)
■教員数：478名(2021年5月1日現在) ■ウェブサイト：<https://www.nua.ac.jp/>
■事業内容：1970年に開学した、私立大学では日本初の芸術系総合大学。芸術系学部と教育・保育系学部の両輪で、豊かな感性や人間力を持つ人材を多方面に送り出している。2017年度に新しい形の芸術学部を構築し、2022年から新しい教育・保育の学びをスタートした。2つのキャンパスは名古屋駅から30分圏内。各地から通学しやすいと同時にゆとりのある環境で、施設・設備も充実する。

いたいと思いました。さらに、証明写真ボックスでの撮影が必要なシステムもありましたが、学生が自前でも写真データを用意できる自由度の高いものが希望でした。

そんな条件にぴったりだったのが、「Smart Photo Collector」です。Webで問い合わせたところコスト面でも魅力があり、撮影にスマートフォンも使え、学生側・大学側とも操作が簡単そうでした。そこで営業担当の方に来てもらい説明を聞きました。事前に無料体験版サイトで操作性を確かめられたのもよかったです。これは使えると思い、導入を決めました。クラウドサービスのため立ち上げ期間は約3週間とスムーズだったのもよかったです。



▶ ワークフロー改善点は?

写真データチェック負担が大幅に軽減。 大学側でのトリミングも不要に!

「Smart Photo Collector」導入後、写真収集工程は学生募集チームの1名のみ(中山様)で完結できるようになりました。

現在の工程ではまず、名前・IDなどの学生情報を登録。システムから学生に一括して、写真データをアップするサイトのURLなどが送信されます。

学生は、スマートフォンやカメラで撮影、すぐにスマホでアップロードできます。以前は証明写真ボックスや写真館での撮影が多かったですが、現在はいつでもどこでも撮影できるので、学生の負担が減り、写真データの集まりも早くなりましたね。

本格的に使用してみていいなと思ったのが、学生が写真データをアップする際の「品質チェック機能」です。システムが「顔サイズ」「明るさ」「ピント」などを判断し、不適切な項目があった場合はアラートを表示するので、不適切な写真データのアップを大きく防げます。

また、アップ時に規定サイズのガイド枠が表示され、それに従って学生自身がスマホ上でトリミングする仕組みなので、大学側の画像調整がほぼ不要になりました。学生も最終的なイメージが確認でき、気に入らなければ再アップできるので、安心感があると思います。

以前は、IT室が全台紙を一枚一枚見ていましたが、今はまず、品質チェック機能でOKだった写真データをサムネイル表示し、制服姿の写真データがないかなどだけをざっと見て、その後アラートの出た写真データだけを確認すれば問題がなくなり、非常に楽です。

承認・否認もワンクリックです。否認処理をすると、用意された再撮影の依頼メールが自動送信でき、連絡が大きく効率化しました。学生ごとの進捗も一目でわかり、画像を上げていない学生にも一括で簡単に催促メールが送信できます。

再撮影の場合、従来は再到着の時期が読めませんでした。今はすぐ届くので助かります。また、「写真データのダウン

ロード機能」により、承認した写真データを一括してダウンロードし^{*}、すぐに使えるのもうれしいです。承認したものの以外でも必要に応じて写真データを選んでダウンロードすることも、全データをダウンロードすることも可能です。

※月額定額プランのみ

▶ 導入の効果は?

工数・コストを大きく削減! 入学式直前の学生証作成も可能に

現在は台紙の用意などの準備、一枚一枚の写真のスキャンとトリミングなどの画像調整が不要になり、5人で作業していたのと比べ時間はトータルで半分以下になりました。

4月1日の入学式までには学生証は必要ですが、一週間前など直前の入試で合格した学生もあり、写真の送付が遅れると、入学式に間に合わず、不備はあっても出願時の写真データで作成せざるを得ないこともありました。ですが現在は、写真データが3月31日などに届いても、その日にチェックして承認、ダウンロード機能ですぐ入手でき、プリントして学生証を作れます。

学生からの問い合わせは、システムからの通知が個人のメール設定により受信できないという事象が多少ありましたが、それ以外はほとんどなく、スマホでスムーズに操作できたようで良かったです。

費用面も満足で使い勝手もよく、来年度も利用したいです。
背景を自動で合成する機能も追加になったとのこと、
家の中で撮影したい学生も多いので、より安心になりますね。



FUJIFILM

富士フイルム イメージングシステムズ株式会社
イメージテック事業本部

ID&クラウド事業部 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-30 富士フイルム五反田ビル
IDシステム営業部 TEL 03-5745-2281
ビジネスソリューション事業部 TEL 03-5745-2282

大阪営業所 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4-3-18 HK今橋ビル8階
TEL 06-6205-6532

ホームページ <https://www.fujifilm.com/ffis>
製品ホームページ https://sp-jp.fujifilm.com/id_ic/



Smart Photo Collector を
「無料体験版サイト」で試用できます!

いつでも、どこからでも、高品質の顔写真収集が行える「Smart Photo Collector」の操作性を、貴社で14日間、無料で体験いただけます。直感的な操作性をぜひこの機会にお試ください。



クラウド型顔写真収集サービス

Smart Photo Collector 詳細はコチラ▶

